

南陽市高齢者等緊急通報支援事業
 利用 申請書
 免除

令和 年 月 日

南陽市長 白岩 孝夫 殿

申請者 住 所
 氏 名 ⑩
 電 話 続柄 ()

緊急通報支援事業の 利用・免除 を受けたいため、次のとおり申請します。

記

本人氏名	⑩	要介護・要支援区分 ※認定を受けている場合
生年月日		
住 所	地区名： (電話：)	
世帯状況 (該当項目に○をつけて下さい。)	健康上の不安のため日常生活支援が必要な、高齢者のみの世帯 (単身含む) の方	
	その他 [重度心身障がい者 (※身障手帳 1・2 級) の方など]	
承諾欄	1 この申請にあたり、世帯状況及び市県民税課税状況を確認するため、市担当課職員が課税台帳を閲覧することに同意します。 2 緊急通報を発信後、確認電話に応答しない場合は、当該事業の協力者や関係機関の者等が住宅内へ立ち入ることを認めます。この場合において、住宅等の一部に破損が生じても修復等の責任を問いません。 3 申請書等に記載した事項については、緊急通報装置の設置・保守を行う事業者及び消防署へ情報提供することに同意します。 4 当該事業の適用を受けた場合は、市が担当民生委員に対して緊急通報支援事業利用開始の連絡を行うことに同意します。	
減免申請事由 (該当項目に○をつけて下さい。)	生活保護受給者	
	老齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税の者	
	災害等を受けた場合	

緊急通報時の協力者				持家以外の場合の家主の承認 南陽市高齢者等緊急通報支援事業により緊急通報装置を設置することを承認します。 南陽市長 殿 設置家屋の所有者 住所 氏名 印 電話
氏 名	続柄	住 所	電 話	